

厚生労働省北海道労働局発表
令和4年12月20日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和4年の死亡労働災害による被災者は39人に

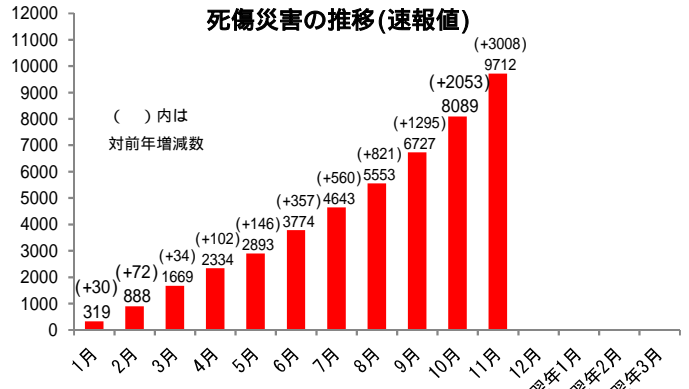
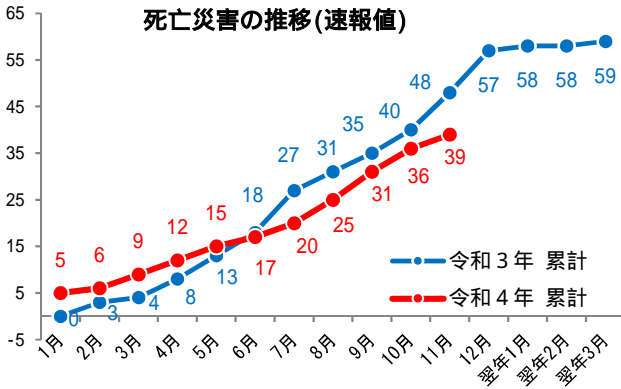
～令和4年の北海道内の労働災害発生状況(令和4年11月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 ともふじとしあき 友藤智朗)は、令和4年の労働災害発生状況(令和4年11月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和4年の死亡労働災害は11月に3人となり、先月より増加しています。死亡災害と同様に休業災害についても増加している状況の中、これからの時期は、北海道の冬季特有の災害である凍結路面によるスリップ事故や転倒災害といった災害が多発する傾向にあり、今後の労働災害防止対策が強く求められます。北海道労働局では例年どおり、冬季ゼロ災運動を呼び掛けています。

1 労働災害の月別推移

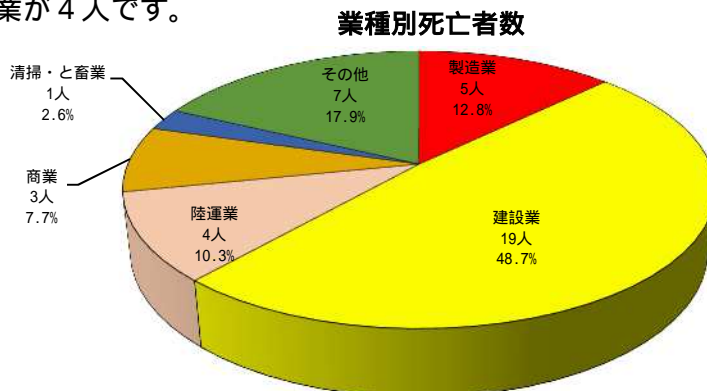
令和4年11月末現在の道内の労働災害による死亡者数は39人で、前年同期と比べて9人減少しており、休業4日以上之死傷者数は9,712人で、前年同期と比べて44.9%増加しています。



2 死亡災害発生状況

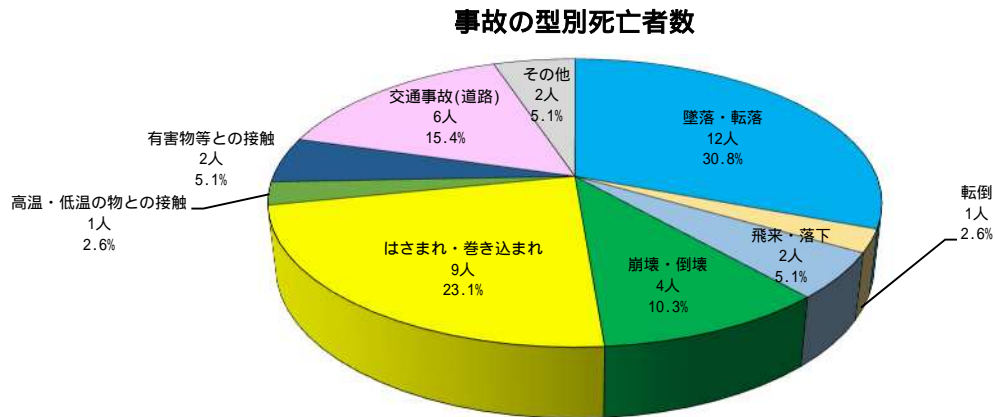
(1) 業種別の状況【資料番号1】

業種別では、建設業において19人と死亡災害の48.7%を占めており、次いで製造業が5人、陸運業が4人です。



(2) 事故の型別の状況【資料番号2】

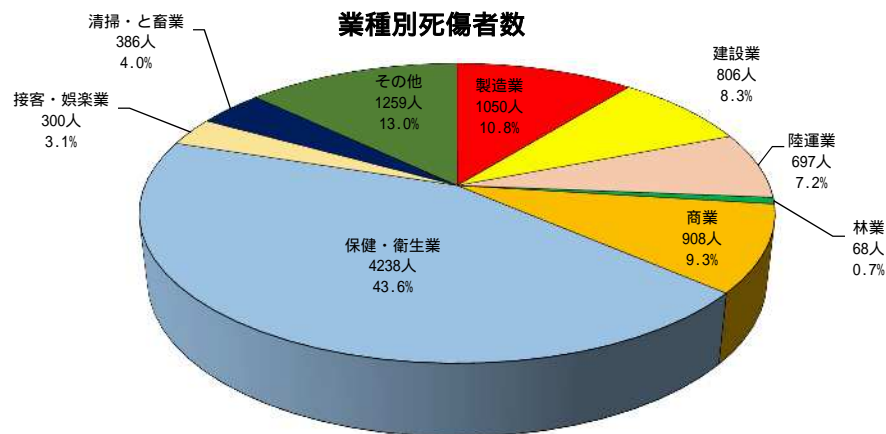
事故の型別では、「墜落・転落」が12人、「はさまれ、巻き込まれ」が9人、「交通事故（道路）」が6人となっています。



3 休業4日以上の死傷災害発生状況

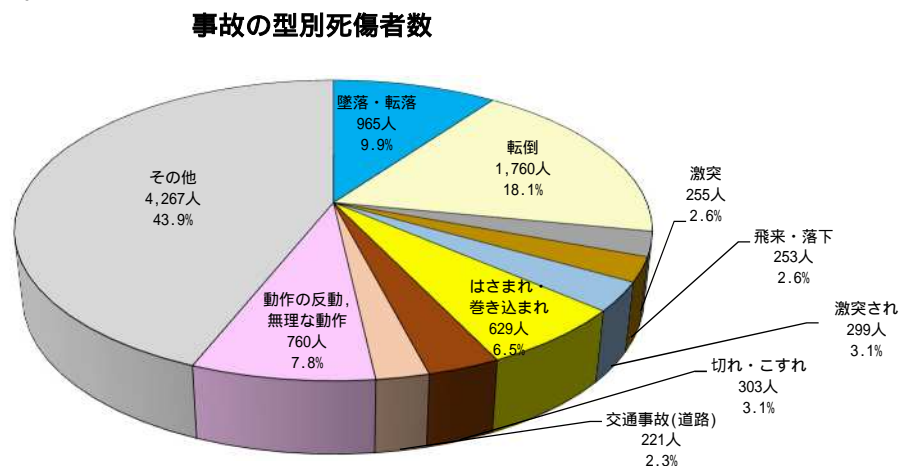
(1) 業種別の状況【資料番号3】

業種別では保健・衛生業が4,238人と最も多く、製造業が1,050人、商業が908人、建設業が806人、陸上貨物運送事業が697人の順となっています。



(2) 事故の型別の状況【資料番号4】

事故の型別では、「転倒」が1,760人で最も多く、「墜落・転落」が965人、「動作の反動,無理な動作」が760人、「はさまれ・巻き込まれ」が629人、「切れ・こすれ」が303人の順となっています。



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種を問わず多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

○「建設工事追い込み期労働災害防止運動」を実施しています。

建設業の労働災害は、例年追い込み期に当たる10月から12月に多発する傾向にあり、これから迎える建設工事の追い込み期に、墜落・転落災害防止を最重点として、重機等災害、崩壊・倒壊災害、交通労働災害、急性中毒、火災の各防止対策を重点実施事項として、本年度も「建設工事追い込み期労働災害防止運動」を展開しています。

【取組期間：令和4年10月1日～12月31日】

○「北海道冬季ゼロ災運動」を実施します。

北海道では冬季において、凍結等による転倒、自動車のスリップや吹雪等による視界不良時の交通事故、除雪作業に伴う墜落災害、屋内での内燃機関、練炭、ジェットヒーター等の使用による一酸化炭素中毒が発生しています。

このことから、北海道労働局では、冬季に発生する労働災害のリスクを低減させるため「北海道冬季ゼロ災運動」を実施し、これに基づいた対策を講じた上で作業を行うことにより、冬季特有の労働災害を減少させることを目指します。

【取組期間：令和4年12月1日～令和5年3月31日】

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

北海道労働局ホームページ内に移動します。

URL https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/anzen-kankei/saigai/toukisaigaiboushi.html



○ 職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000736900.pdf>



【添付資料】

資料番号	1	令和4年における死亡災害発生状況
資料番号	2	令和4年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
資料番号	3	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
資料番号	4	令和4年 業種別労働災害発生状況（その1、その2）
資料番号	5	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
資料番号	6	令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況
資料番号	7	令和4年 死亡労働災害の概要（令和4年11月把握分）
資料番号	8	令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上の災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和4年の災害統計は、令和5年3月31日以降に確定することとなります。

令和4年における死亡災害発生状況 [速報]

令和4年1月1日～令和4年11月30日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	39 (6)	100.0	48 (5)	100.0	-9	-18.8	-10	-23.3
製造業	5 ()	12.8	2 ()	4.2	3	150.0	3	150.0
鉱業	()		1 ()	2.1	-1	-100.0	-1	-100.0
建設業	19 (1)	48.7	18 (1)	37.5	1	5.6	1	5.9
交通運輸事業	1 ()	2.6	1 ()	2.1				
陸上貨物運送事業	4 (1)	10.3	7 (2)	14.6	-3	-42.9	-2	-40.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	()		1 ()	2.1	-1	-100.0	-1	-100.0
その他の事業	10 (4)	25.6	18 (2)	37.5	-8	-44.4	-10	-62.5

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和4年1月1日～令和4年11月30日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	10 (4)	100.0	18 (2)	100.0	-8	-44.4	-10	-62.5
小売業	3 (2)	30.0	2 (1)	11.1	1	50.0		
医療保健業	()		1 (1)	5.6	-1	-100.0		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	10.0	1 ()	5.6				
ビルメンテナンス業	()		1 ()	5.6	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	2 (2)	20.0	1 ()	5.6	1	100.0	-1	-100.0
農業・畜産業	3 ()	30.0	3 ()	16.7				
水産業	()		3 ()	16.7	-3	-100.0	-3	-100.0
その他	1 ()	10.0	6 ()	33.3	-5	-83.3	-5	-83.3

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

業種別労働災害発生状況 その1

令和4年1月1日～令和4年11月30日

北海道労働局

業種別	区分	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		39	9,673	9,712	48	6,656	6,704	3,008	44.9	100.0	59	8,088	8,147
製造業	製造業	5	1,045	1,050	2	1,023	1,025	25	2.4	10.8	3	1,214	1,217
	食品	1	554	555		543	543	12	2.2	5.7		654	654
	木材・家具		83	83	1	94	95	-12	-12.6	0.9	1	111	112
	紙・印刷		28	28		17	17	11	64.7	0.3		19	19
	窯業・土石		57	57		44	44	13	29.5	0.6	1	48	49
	金属・機械		149	149		143	143	6	4.2	1.5		172	172
	その他	4	174	178	1	182	183	-5	-2.7	1.8	1	210	211
鉱業	鉱山		3	3		2	2	1	50.0	0.0		2	2
	土石採取業		16	16	1	17	18	-2	-11.1	0.2	1	23	24
建設業	建設業	19	787	806	18	784	802	4	0.5	8.3	20	939	959
	土木工事業	9	299	308	11	281	292	16	5.5	3.2	11	348	359
	建築工事業	5	322	327	4	322	326	1	0.3	3.4	6	377	383
	木造建築業		88	88	1	96	97	-9	-9.3	0.9	1	118	119
	その他	5	78	83	2	85	87	-4	-4.6	0.9	2	96	98
交通運輸事業	1	252	253	1	193	194	59	30.4	2.6	1	241	242	
陸上貨物運送事業	陸上貨物運送事業	4	693	697	7	694	701	-4	-0.6	7.2	8	856	864
	道路貨物運送	4	654	658	7	641	648	10	1.5	6.8	8	795	803
	陸上貨物取扱		39	39		53	53	-14	-26.4	0.4		61	61
港湾運送業		14	14		19	19	-5	-26.3	0.1		21	21	
林業		68	68	1	66	67	1	1.5	0.7	1	73	74	
水産業		109	109	3	94	97	12	12.4	1.1	3	127	130	
商業	3	905	908	4	962	966	-58	-6.0	9.3	8	1,232	1,240	
清掃・と畜業	1	385	386	2	322	324	62	19.1	4.0	2	398	400	
上記以外の事業	6	5,396	5,402	9	2,480	2,489	2,913	117.0	55.6	12	2,962	2,974	

(注) 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

11月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	63			5,280		
5年目(令和4年)	39	-24	-38.1%	9,712	4,432	83.9%

第13次労働災害防止計画の目標
平成29年と比較して令和4年までに…
・死亡者数を20%以上減少させる。
・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和4年1月1日～令和4年11月30日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	1	82	83	3	90	93	-10	-10.8	0.9	3	112	115
畜産業	2	272	274		233	233	41	17.6	2.8	1	275	276
金融・広告業		29	29		41	41	-12	-29.3	0.3	1	46	47
映画・演劇業		3	3		2	2	1	50.0	0.0		5	5
通信業		147	147		133	133	14	10.5	1.5		156	156
教育・研究業	1	87	88	1	60	61	27	44.3	0.9	1	74	75
保健衛生業		4,238	4,238	1	1,311	1,312	2,926	223.0	43.6	1	1,557	1,558
接客娯楽業		300	300	2	314	316	-16	-5.1	3.1	3	382	385
その他の事業	2	238	240	2	296	298	-58	-19.5	2.5	2	355	357
合計	6	5,396	5,402	9	2,480	2,489	2,913	117.0	55.6	12	2,962	2,974

「第三次産業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	3	905	908	4	962	966	-58	-6.0	9.3	8	1,232	1,240
うち 小売業	3	702	705	2	749	751	-46	-6.1	7.3	5	975	980
金融・広告業		29	29		41	41	-12	-29.3	0.3	1	46	47
映画・演劇業		3	3		2	2	1	50.0	0.0		5	5
通信業		147	147		133	133	14	10.5	1.5		156	156
教育・研究業	1	87	88	1	60	61	27	44.3	0.9	1	74	75
保健・衛生業		4,238	4,238	1	1,311	1,312	2,926	223.0	43.6	1	1,557	1,558
うち 社会福祉施設		1,818	1,818		847	847	971	114.6	18.7		994	994
うち 医療保健業		2,404	2,404	1	453	454	1,950	429.5	24.8	1	550	551
接客・娯楽業		300	300	2	314	316	-16	-5.1	3.1	3	382	385
うち 飲食店		147	147		146	146	1	0.7	1.5	1	185	186
うち 旅館業		65	65	1	85	86	-21	-24.4	0.7	1	102	103
うち ゴルフ場		37	37		41	41	-4	-9.8	0.4		46	46
清掃・と畜業	1	385	386	2	322	324	62	19.1	4.0	2	398	400
その他の事業	2	238	240	2	296	298	-58	-19.5	2.5	2	355	357
うち 警備業	2	50	52	1	77	78	-26	-33.3	0.5	1	84	85
合計	7	6,332	6,339	12	3,441	3,453	2,886	83.6	65.3	18	4,205	4,223

令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年11月30日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号	起因物																									
	1	2	3	4		5		6-2	7-2	その他		11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99
事故の型	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	計	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
1 墜落・転落	118		2	265	185	8	6	2	6	10	363			1	20	1	6	4	11	220	17		1				6	240	13	348		11	14	50		2	
2 転倒	244	1	4	118	134	104	12		5	23	1,115				10	1	7		3	46	40				5	38	101	28	779		24	21	596	4	57		
3 激突	42		2	22	36	3			3	8	139				3		5	1		41	16					18	39	18	73		8	7	20	1	5		
4 飛来・落下	61		2	62	39		1		14	5	69			2	11	3	17		7	14	2				1	18	39	10	4	1	66	37	18	3			
5 崩壊・倒壊	16			21	11	1	1		3	2	22			1	1		1			3	1	1				9	9		11		13	16	11				
6 激突され	34		1	35	33	2	2	2	12	11	167			2	9	1	12	4	9	31	11				1	29	24	6	9		14	11	116	6	4		
7 はさまれ・巻き込まれ	204	1	2	86	71	6	4	4	7	33	211	629	2	13	12	20	31	113	2	26	122	31	1		1	58	39	23	32		36	27	38		2		
8 切れ・こすれ	81		1	70	5				9	4	133			54		17	60		1	1	1					109	10	7	7		29	2	4	1			
9 踏抜き	2			4	1						5																1		5		5				1		
10 おぼれ											1																								1		
11 高温・低温の物との接触	30			8	3	1					39	81		1			5				1				3	8	2	12	8	2	3	7	3	24		2	
12 有害物等との接触	5			3							13	21									1								2		15			3			
13 感電	1			1								2													2												
14 爆発											1	1													1												
15 破裂					1						1	2																	2								
16 火災				2								2			1															1							
17 交通事故(道路)	13			25	31	39			2		111	221				3	1				33	170				2			2					9		1	
18 交通事故(その他)											4	4										1							1							2	
19 動作の反動・無理な動作	71		2	35	100	26	13	4	7	12	490	760			4	4			3	33	23			1	19	18	8	120		16	104	49	34	324			
90 その他	128	1		49	8	63		2		1	3,810	4062																						13	4,041	8	
99 分類不能											2	2																							1	1	
合計	1050	3	16	806	658	253	39	14	68	109	6696	9712	2	13	73	82	54	231	11	60	545	314	2	1	4	8	11	308	532	125	1393	20	229	242	952	4092	408

令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年11月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製 造 業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建 設 業	道路貨物 運 送 業	その 他 の 運 輸 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	港湾運送業	林 業	水 産 業		
署別													
札幌中央	1				2							2	5
札幌東					2		1						3
函 館					4							1	5
小 樽													
岩見沢					1								1
旭 川												2	2
帯 広					1							3	4
滝 川	1				2								3
北 見					1								1
室 蘭					2	1							3
釧 路	1				1	2						2	6
名 寄													
留 萌													
稚 内													
浦 河					1								1
苫小牧	2				1	1							4
倶知安					1								1
計	5				19	4	1					10	39

死亡労働災害の概要(令和4年11月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	11	13時台	土木工事業	10人未満	崩壊、倒壊	環境等	被災者は用水路工事において、塩ビ管(径30cm)を敷設するため、ドラグ・ショベルにより下幅60cm、深さ約2.5mの溝状に掘削を行った箇所に入って、砂を敷き均す作業を行っていたところ、掘削箇所の片側の側壁が崩壊し、被災者の首の近くまで土砂に埋まったもの。掘削箇所の側壁の勾配はほぼ垂直であり、土止め支保工等は設置されていなかった。
4	10	15時台	畜産業	10人未満	墜落、転落	乗物	被災者は野鳥を狩猟するため自動車で移動していたところ、林道で左後輪が脱輪したため、自動車に取り付けられているウインチのロープを木にかけ、脱輪を戻そうとしたが、車が滑ってロープが切れ、林道から高さ50メートル下へ転落したものの。
4	11	14時台	土木工事業	10人未満	はさまれ、巻き	動力クレーン等	被災者はクレーン付き車両運搬車の荷台に設置されたウインチのワイヤーロープの交換作業を行うにあたり、積載型トラッククレーンのアウトリガーを使用して車体を持ち上げ、車体の下に入り込み作業していたところ、回転していたPTO(エンジンからクレーンの動力を取り出す装置)のドライブシャフトに、被災者の着用していた衣服が巻き込まれたもの。

令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 令和4年11 月末現在

	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
1	3	14時台	その他の建設業	10人未満	<p>商業ビルの店舗内において、ガソリンエンジン式高圧洗浄機を用いて排水管の洗浄作業を代表者1名ほか4名で行っていたところ、当該洗浄機の排気ガスが店舗内に充満し、当該洗浄機付近で作業していた労働者1名が倒れたため、代表者は社用車で作業員全員を休憩させた。他の労働者1名も寒気を訴えたため、代表者は店舗経営者に救急車を呼ばせ、作業員全員を医療機関に搬送させた結果、全員が一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者4人(休業4日未満)]</p>	
2	4	9時台	浴場業	30人以上50人未満	<p>男性トイレを清掃中、便器に酸性洗剤をかけ、浸している間に異臭が発生し、気分が悪くなり、病院で「塩素ガス中毒」と診断され入院した。</p> <p>[その他の中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
3	6	11時台	その他の事業	50人以上100人未満	<p>倉庫内において、内燃式フォークリフトを運転し、出庫及び破れたフレコンの詰め替え作業等を行っていたところ、具合が悪くなったもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
4	10	13時台	畜産業	10人以上30人未満	<p>養豚場において、豚舎から出た豚の糞尿等が流れ込むマンホール(深さ3.2m)の底に溜まった固形物を取り除く作業を行っていたところ、硫化水素中毒となり、意識状態が悪化して身動きが取れなくなったもの。</p> <p>[硫化水素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
5	10	11時台	その他の建設業	10人以上30人未満	<p>工場内設備の修繕作業を行っていた作業員が、手持ち式金属切断機を用いてボルトを切断していたところ、切断したボルト1本を混炭機内に落としてしまったことから、回収のため同機内に入ったところ倒れ、救出のため近づいた職長も同機内で倒れたもの。</p> <p>[酸素欠乏症:被災者2人(死亡)]</p>	
6	10	12時台	自動車小売業	10人未満	<p>3名の労働者が、工場内で車両の整備等の作業をしていたところ、3人共がめまい、頭痛を訴え病院に搬送され、一酸化炭素中毒と診断されたもの。工場内では廃油を使用するストーブが使用されていた。</p> <p>[一酸化炭素:被災者3人(休業4日以上1名、不休2名)]</p>	
合計	発生件数	6	内訳	一酸化炭素中毒 3件 酸素欠乏症 1件 硫化水素中毒 1件 その他の中毒 1件		
	被災者数	12	内訳	死亡 2人 休業4日以上 4人 休業4日未満 4人 不休 2人		